

2021県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～ 県民アンケート調査へのご協力のお願い ～

県民の皆様には、日頃から、県政の推進にご理解、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

熊本県では、県政に県民の皆様のご意見を反映させていただくため、毎年、県民アンケート調査を実施しています。

この調査は、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様が感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、3,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

よりよい熊本づくりに向け、皆様の率直なご意見をよろしくお願いいたします。



令和3年(2021年)6月

熊本県知事 蒲島 郁夫

調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人**でお願いします。
(ご本人での記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、**この調査票に直接記入**してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。
(回答していないところがあっても、そのまま返送してください。)
- 記入が終わったら、**同封の返信用封筒に入れ**、切手を貼らずに **令和3年(2021年)6月21日(月)までに** 郵便ポストに投函してください。
- 回答いただいた内容は、無記名のまま集計・分析するため、個人が特定されることはありません。

■ お問い合わせ先

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：三藤(さんとう)、菅野(すがの)

電話 096-333-2018 (直通)

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

幸せについて

問1 現在、あなたは幸せだと感じていますか。(1つだけ○)

1. 感じている 2. やや感じている 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば感じていない 5. 感じていない

問2 次の4つの分類について、あなたの幸福で重視する順番をお答えください。
()の中にAからDのアルファベットを記入してください)

- A：夢を持っている (家族関係、仕事関係、教育環境)
B：誇りがある (自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり)
C：経済的な安定 (家計所得、消費活動、住まい)
D：将来に不安がない (心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安)

こちらの()に記入してください

1番重視 ()、2番目に重視 ()、
3番目に重視 ()、4番目に重視 ()

(記入例)

・「A」を1番重視、2番目は「C」、3番目は「B」、4番目は「D」の場合
⇒1番重視(A)、2番目に重視(C)、3番目に重視(B)、4番目に重視(D)

・「A、B、C」を1番重視、2番目は「D」、3番目、4番目は「なし」の場合
⇒1番重視(A、B、C)、2番目に重視(D)、3番目に重視()、
4番目に重視()

・重視する順位が同じ場合
⇒1番重視(A、B、C、D)、2番目に重視()、3番目に重視()、
4番目に重視()

問3 現在、あなたは次の4つの分類について、満足していますか。
(それぞれ分類について、1つだけ○)

A：夢を持っている（家族関係、仕事関係、教育環境）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

B：誇りがある（自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

C：経済的な安定（家計所得、消費活動、住まい）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

D：将来に不安がない（心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

新型コロナウイルスについて

問4 あなたが、新型コロナウイルス感染症に関する情報について知りたいことは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 熊本県リスクレベル情報
2. 新型コロナウイルス感染症の感染者数
3. 飲食店での感染防止対策
4. イベント開催制限に関する情報
5. 接触確認アプリ
6. 新型コロナウイルス感染症に伴う支援制度
7. その他 ()

問5 あなたは、県内における新型コロナウイルス感染症の発生動向についてどのようにして把握していますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 熊本県・熊本市のホームページやSNS
2. テレビ
3. ラジオ
4. 新聞
5. インターネット (1を除く)
6. その他 ()

問6 あなたは、日頃から、どのような感染防止対策に取り組んでいますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. マスクを着用する
2. こまめに手を洗う (手指消毒をする)
3. 人と人との距離を確保する
4. 「三密 (密閉・密集・密接)」の場を避ける
5. こまめに換気をする
6. 体調が悪いときは不要・不急の外出を控える
7. ステッカー掲示など感染防止対策が行われている店舗を利用する
8. 接触確認アプリを利用している
9. 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を実践している
10. その他 ()
11. 何もしていない

問7 あなたは、コロナ禍の状況の中、日常生活において不安に感じることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 健康状態の悪化（身体・精神的な不安）
2. 収入の減少
3. 支出の増加
4. 働き方の変化
5. 外出時における制限
6. 人との交流機会の減少
7. 学習機会の減少や学力の低下
8. 文化芸術に触れる機会の減少
9. 運動やスポーツの機会の減少
10. 特にない

防災・治安について

問8 あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※13以外は複数選択可)

1. 家具等の固定
2. 水・食料等の備蓄
3. 非常用持出品の準備
4. 風呂に水をためる
5. 地域の危険箇所やハザードマップ（災害等発生時の危険箇所）の確認
6. 指定避難場所、経路の確認
7. 家族との連絡方法の確認
8. 自主防災組織などが行う訓練への参加
9. 県・市町村等のホームページ等での気象情報などの収集
10. 自治体の防災メールの登録
11. 早めの自主避難（予防的避難※）
12. その他（）
13. 何もしていない

※予防的避難とは、天候の悪化等が予想される場合に、夜になる前の明るい時間帯や風雨が強くなる前など、避難が難しくなる前に、早めに避難すること。

問 9 防災に関する知識で、今後、県が普及・啓発に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. 避難所や避難経路に関する情報
2. 個人でできる災害に対する備え(自助)
3. 近隣の安否確認や、避難誘導など地域でできる取組み(共助)
4. 災害時の情報収集方法
5. 災害時の注意点
6. 避難生活で気を付けること
7. 災害ボランティアの支援要請や参加方法
8. ハザードマップの情報
9. 地震に関する情報(断層の場所や発生確率等)
10. 防災士(防災に関する知識を有し、災害時等に活動する民間資格者)の資格取得に関する情報
11. その他()
12. 特にない

問 10 あなたが、風水害の際に、避難を検討するきっかけは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 気象庁等から特別警報、土砂災害警戒情報、氾濫危険水位到達が発表されたとき
2. 市町村がレベル5(緊急安全確保)を発表
3. 市町村がレベル4(避難指示)を発表
4. 市町村がレベル3(高齢者等避難)を発表
5. テレビ、ラジオのキャスター等による避難の呼びかけ
6. 近所の人からの避難の呼びかけ
7. 消防団、自主防災組織からの避難の呼びかけ
8. 親族、家族等の近しい人からの避難の呼びかけ
9. SNS等で発信された避難の呼びかけ

問 11 あなたは、令和2年(2020年)~令和3年(2021年)に予防的避難(※)を行いましたか。行わなかった方はなぜですか。(1つだけ○)

※予防的避難とは、天候の悪化等が予想される場合に、夜になる前の明るい時間帯や風雨が強くなる前など、避難が難しくなる前に、早めに避難すること。

1. 行った
2. 「予防的避難」という避難方法があることを知らなかった
3. ハザードマップ等を確認して、安全な場所にいるため予防的避難を行わなかった
4. 今までの経験上、避難しなくても大丈夫だと思ったため、予防的避難を行わなかった
5. 避難先が分からなかった(見つからなかった)ため予防的避難を行わなかった

問15 あなたは、治安をよくするために、どのような取組みが必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 防犯カメラや防犯灯の設置など犯罪が起きにくい環境の整備
2. 防犯ボランティアなどによる自主防犯活動の強化
3. 個人レベルでの防犯対策の実施
4. 規範意識を高める教育の実施
5. 犯罪の厳罰化
6. 就労支援など犯罪者への再犯防止対策の充実
7. ご近所など地域社会における絆づくりの強化
8. ネット上の違法・有害情報の削除やサイバーパトロール
9. その他 ()

救急医療について

問16 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか。
(1つだけ○)

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

※整っていると思うか、思わないかについては、以下の視点等からご回答ください。

- ・ 休日や夜間に対応している医療機関が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 重篤な救急患者を受け入れる病院が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 最寄りの医療機関まで遠いと感じるか、近いと感じるか。

障がい者施策について

問17 熊本県では、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」により、障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指しています。あなたは、この条例を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

高齢者の福祉・介護について

問18 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。(2つ以内で○)

1. 高齢者の就労支援
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護(成年後見制度の利用促進、虐待防止等)
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他()

健康について

問19 あなたは、令和2年度(2020年度)に1日に30分以上運動やスポーツを実施した日数を全部あわせると、何日くらいになりますか。(1つだけ○)

1. 週に5日以上(年251日以上)
2. 週に3日以上(年151日~250日)
3. 週に2日以上(年101日~150日)
4. 週に1日以上(年51日~100日)
5. 月に1日~3日(年12日~50日)
6. 3か月に1日~2日(年4日~11日)
7. 年に1日~3日
8. 令和2年度(2020年度)に運動やスポーツはしなかった
9. わからない

※ウォーキング、散歩、自転車、キャンプ、登山、フィッシング、ひと駅歩き、階段昇降等、目的をもって楽しく体を動かした場合(レジャーや通勤・通学の場合も含む)も運動やスポーツを行っていると考えてください。

問20 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。
(1つだけ○)

※食育とは、食に関する知識や技術を身につけること。

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない

人権・男女共同参画について

問21 あなたは、ハンセン病が感染しにくい病気だということを知っていますか。
(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問22 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、ハンセン病の患者さんや治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じますか。(1つだけ○)

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

問23 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって職場や家庭、地域での役割を固定しようとする考え方についてどう思いますか。(1つだけ○)

1. 同感する
2. どちらかといえば、同感する
3. どちらかといえば、同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問24 あなたは、人権意識を高めるためには、どのような広報啓発活動が効果的だと思いますか。(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. テレビ、ラジオ
2. 講演会、シンポジウム、研修会等
3. 新聞、雑誌
4. 広報誌、パンフレット、ポスター
5. 映画、ビデオ
6. インターネット、Eメール（メールマガジン等）
7. 自由な意見交換ができる会合や交流会
8. ワークショップ（参加者による少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等）
9. 展示会（資料、写真等）
10. プロスポーツ組織と連携した啓発活動
11. その他（）
12. わからない

地下水について

問25 あなたは、水田でのお米づくりや化学肥料を減らすことで、地下水や土を育てていることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

問26 あなたは、「くまもとグリーン農業」が、化学肥料や化学農薬を減らした環境にやさしい農業の取組みであることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

食の安全安心・農林水産物等について

問27 あなたは、現在、販売されている農林水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。（1つだけ○）

1. 全く不安はない
2. あまり不安はない
3. ある程度不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

※この質問は、問27で、選択肢3・4のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問28 ある程度不安がある、もしくはとても不安があることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1. 輸入食品
2. 食品添加物
3. 残留農薬
4. 食中毒
5. 環境汚染物質（カドミウム、ダイオキシン等）
6. 遺伝子組換え食品
7. 偽装表示
8. 放射性物質

問29 あなたは、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消（ちさんちしょう）」に関心がありますか。また、県内でできた農林水産物（または加工品）を購入（またはレストランなどで注文）していますか。（1つだけ○）

1. 地産地消に関心があり、なるべく県産農林水産物を購入している
2. 地産地消に関心はあるが、県産農林水産物にはこだわらない
3. 特に関心がない

循環型社会について

問30 循環型社会を形成していくために、あなたは、特に意識して取り組んでいるもの
はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 職場や学校でのマイボトル・マイカップの利用
2. マイバッグを利用することでレジ袋の削減
3. 詰替え用製品や再利用できる瓶が使用された製品の購入
4. フリーマーケットやリサイクルショップの活用
5. リサイクルを意識した家庭でのごみの分別の徹底
6. プラスチックごみの分別排出の徹底
7. その他 ()

問31 国連で一人あたりの食品廃棄物を半減させるという目標が設定されたなか、日本
では食品ロス(まだ食べられるのに捨てられている食品)が年間推計 612 万トン(事
業系 328 万トン、家庭系 284 万トン)発生しています。

あなたがより効果的と考える対策はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

(企業における取組み)

1. 賞味期限間近など販売できない食品をフードバンク(※)へ提供
2. 消費期限及び賞味期限が間近な食品の値下げ販売
3. 食品廃棄物のリサイクル(堆肥化、飼料化など)
4. 正確に食品の需要量を予測する取組み
5. 小盛り、おかわり自由など提供量の調整
6. その他 ()

(家庭等における取組み)

1. 「買い物前の冷蔵庫確認」など買いすぎを控える
2. 余っている食品をフードバンクなどに提供する
3. 生ごみを水切りや生ごみ処理機で減量する
4. 保育所、小学校、中学校での環境教育
5. その他 ()

※フードバンクとは、食べられる様々な食品を企業などから集め、地域の福祉団体や個人に
届ける活動を行う組織のこと。

食品ロス削減問題について

問32 あなたは、食品ロス削減を意識して行っていますか。
(1つだけ○)

1. 行っている
2. 何も行っていない

※この質問は、問32で選択肢1を選択された方のみにお尋ねします。

問33 どのようなことを行っていますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. お店では使い切れる分だけ食材を購入することを心掛けている
2. お店では出来る限り賞味（消費）期限が近いものを購入している
3. 家で調理をする際、一度に食べきれぬ量だけ作っている
4. 家で調理をする際、食材の食べられる部分は使い切るように心掛けている
5. 冷蔵庫や保管庫での食材の保存方法、配置方法などを工夫している
6. 飲食店では、食べきれぬ範囲で注文している
7. 飲食店で食べ残しが出る場合には、ドギーバッグ（※）等を利用し、持ち帰っている。
8. 家庭から出る生ごみは、生ごみ処理機などを利用し、たい肥として利用している
9. その他（ ）

※ドギーバッグとは、客が食べ残した料理をつめて客が持ち帰るための袋や容器のこと。

※この質問は、問32で選択肢2を選択された方のみにお尋ねします。

問34 何も行っていない理由はなんですか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 食品ロスの問題に関心がない
2. お店で商品を購入する際、食品ロス削減のためにはどのような購入の仕方をすればよいか分からない
3. 家で調理を行う際、食材をどのように調理すれば食品ロスを削減できるか分からない
4. 家で食品を管理する際、どのようにすれば食品ロスを削減できるか分からない
5. 飲食店を利用する際、どのような頼み方をすれば食品ロスを削減できるか分からない
6. その他（ ）

※この質問は、問37で選択肢2・4を選択された方のみにお尋ねします。

問38 美術館、博物館等の文化芸術施設に行かなかった理由、または県内施設に行かなかった理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 興味がない(行こうと思わない)
2. 他の余暇の過ごし方を優先する
3. アクセスが悪い(公共交通機関が不便等)
4. 以前行ったことがあるが、展示内容があまり面白くなかった
5. 以前行ったことがあるため、もう行かなくてよい
6. 開館日(時間)が自分の都合に合わない
7. 観覧料金が高い
8. 新型コロナウイルス感染症等の感染予防のため
9. その他()

動物愛護について

問39 あなたは、県の保健所や、県内の動物愛護センターから犬や猫を譲り受けることができることを知っていますか。

また、飼い犬・猫が迷子になった時、お住まいの地域の保健所や警察署に連絡(届出)することで、保護されているかを確認できることを知っていますか。

(譲り受けについて)

1. 知っている
2. 知らない

(保健所等への連絡(届出)について)

1. 知っている
2. 知らない

自転車保険について

問40 あなたは、自転車保険(自転車事故により相手の生命又は身体に損害を与えた場合に補償できる賠償責任保険)に加入していますか。(1つだけ○)

※自動車保険や火災保険の特約として加入している場合も含みます。(個人賠償責任特約など、名称は各社により異なります。)

※条例により、令和3年10月1日から保険への加入が義務になります。

1. 自転車を利用しており、保険に加入している
2. 自転車を利用しているが、保険に加入していない
3. 自転車を利用しているが、保険に加入しているかわからない
4. 自転車を利用していない
5. その他()

ゼロカーボンについて

問 4 1 あなたが、ゼロカーボン社会の実現に向けて、CO₂（二酸化炭素）の排出量の削減のために取り組んでいることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1. 再生可能なエネルギーを選ぶ（太陽光発電、蓄電池、再エネ電力等）
2. 電気自動車を選ぶ
3. 省エネ家電を選ぶ
4. 宅配便は1回で受け取る
5. 不必要な使い捨てプラスチックはもらわない
6. 地産地消を意識する
7. 必要なものを必要な分だけ買う
8. 公共交通機関や自転車で通勤・通学する
9. 取り組んでいない
10. その他（ ）

SDGs について

問 4 2 あなたは、SDGs（エスディーゼズ）という言葉を知っていますか。（1つだけ○）

1. SDGsという言葉を知っており、意識して行動している
2. SDGsという言葉は知っているが、意識した行動はしていない
3. SDGsという言葉聞いたことがある
4. 知らない

※この質問は、問42で選択肢1～3のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問 4 3 SDGsという言葉をごどのようにして知りましたか。（あてはまるもの全てに○）

1. 新聞
2. テレビ
3. 雑誌
4. 職場
5. 学校
6. 地域活動
7. 家族や知人・友人
8. セミナー、シンポジウム等のイベント
9. SNS
10. インターネット
11. その他（ ）

里親制度について

問44 あなたが、里親制度について知っていることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 里親になるための特別な資格は不要なこと
2. 里親になるために必要な研修があること
3. 未婚や子育ての経験が無くても里親になることができること
4. 実子がいても里親になることができること
5. 共働きの家庭でも里親になることができること
6. 短期間での受け入れもできること
7. 里親＝養子縁組という訳ではないこと
8. 子どもを育てるために必要な生活費、教育費、医療費などが支給されること
9. 里親を応援するための支援機関があること
10. 里親制度について、内容はほとんど知らない

公共交通機関について

問45 あなたは、公共交通機関をどのくらいの頻度で利用しますか。
(1つだけ○)

※「公共交通機関」には、バス、鉄道、路面電車、フェリー、タクシー等のほか、市町村が運行するコミュニティバスや乗合タクシー等を含みます。

1. 週に5日以上
2. 週に3～4日程度
3. 週に1～2日程度
4. 月に数日程度
5. ほとんど利用しない(年に数日程度以下)

問46 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関のサービス内容について、どう思いますか。(1つだけ○)

※「サービス内容」とは、路線、ダイヤ、便数、運賃、及びこれらの情報提供等を指します。

※地域で複数の公共交通機関が運行している場合、その総合的な評価についてご回答ください。

1. 満足(とても利用しやすい)
2. やや満足(利用しやすい)
3. どちらでもない
4. やや不満足(利用しにくい)
5. 不満(とても利用しにくい)

問 4 7 サービス内容が向上してほしいと思う公共交通機関はどれですか。

(あてはまるもの全てに○)

※「サービス内容」とは、路線、ダイヤ、便数、運賃、及びこれらの情報提供等を指します。

1. 路線バス
2. 鉄道
3. 路面電車
4. フェリー
5. タクシー
6. 市町村が運行するコミュニティバス、乗合タクシー等
7. その他 ()

県の広報媒体について

問 4 8 あなたが、県の施策・取組みを知るのに身近な媒体はどれだと思いませんか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 県広報誌「県からのたより」
2. 県政広報テレビ「くまモン スマイル ジャンプ！」
3. 県政広報ラジオ「AM ふれあいくまもと」「FM 県庁ダイアリー」
4. 県からの新聞紙面広告（報道記事を除く）
5. 県ホームページ
6. SNS（ツイッター、フェイスブック、ラインなど）
7. 報道
8. その他 ()

県政に対するご意見

県政全般について、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

